

2017年 年頭ご挨拶

2017年1月4日

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

代表取締役社長 井阪 隆一

明けましておめでとうございます。

2016年は、予測を超えた大きな変化の年となりました。英国のEU離脱決議、米国大統領選の結果などの政治的な出来事は、瞬く間に株式市場や為替相場の変動をもたらし、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしました。今年も、欧州各国や韓国等で重要な選挙が控えており、また原油価格引き上げの影響なども多方面に表れつつあって、昨年以上の大きな変動の年となることが予想されます。また、国内では、社会保障への不安がいよいよ顕在化してまいりました。

このような生活を取り巻く経済・社会環境の大変動や将来に対する不安などを背景に、お客様の安定志向、節約志向がますます高まっていくことでしょう。それは、これまで以上に、お客様が本当に求める価値を厳しく見定め、商品やサービスを厳選していくことを意味しています。このようなお客様の動向に、奇手奇策は通用しません。私たちは、これまで以上に「基本の徹底」に取り組み、お客様の変化に目をこらして「変化への対応」に徹し、新しいことに挑戦していくことが不可欠です。お客様の目線で商品・サービス、売場を見直し続け、全員でレベルアップに努めていくことが重要です。

セブン&アイ・ホールディングスは、2016年、新たな体制がスタートし、よりいっそうの成長と構造改革の推進を図る「100日プラン(中期経営計画)」を発表しました。今年はその取り組みを本格化し、加速していく年となります。その私たちの取り組みの基本となるのが次の2点です。

第一に、社是に掲げている「信頼と誠実」です。これは、私たちのあらゆる仕事の出発点であるとともに、いま社会的な課題となっている「働き方改革」や「生産性の向上」の原点でもあります。社員同士、お取引先や地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆さまと「信頼と誠実」の姿勢をもって接し、対応していくことが大切です。その上で、現場での問題点があれば、必ず上司や会社に問題提起し、組織的に解決を図っていくことが必要です。

第二に、PDCAを回し続けるということです。各事業会社では成長戦略や構造改革が始まっています。セブン-イレブンでは店舗の販売力、商品力の強化を進めるとともに、新たな売場づくりのテストもスタートし、すでに成果も生まれています。イトーヨーカドーでは売場改革を進め、コスト削減への取り組みなどにも全社一丸となって取り組んできた結果、利益改善等の成果も上がっています。そごう・西武では、旗艦店への資源の集中とともに、郊外店では地域一番店として商圈のお客様の支持を得る店づくりに向け、所沢店でテストがスタートしています。このようにアクションを起こせば、必ず結果が生まれてきます。

仮説をもって具体的なアクションを起こし、そこで得た成果を検証して、さらに次のアクションに結び付けていく、このPDCAのサイクルが、私たちの成長戦略や構造改革の基本です。2017年は大変動の年になることが予想されます。その大きな変化に対応するためには、積極的な挑戦が必要です。全員でアクションを起こし、さまざまな可能性を広げていってください。酉年に因み、一緒に大きく羽ばたく1年としていきたいと思います。

(2017年1月4日新年初朝礼 挨拶要旨)